

和歌山病院での実習を終えて



阪口 晴香

二日間に渡り和歌山病院での実習をさせていただきました。

特に印象に残ったことは、胸部 X 線画像の読み方を画像になる原理から分かりやすく教えていただいたことです。どうしてそのような線になるのか、どうしてそのような色になるのか、一から教えていただいたので、胸部内の臓器がどのように X 線で表されるのか理解することが出来ました。そしてどのような画像になるのか自分たちで考えていき、正解にたどり着くようにレクチャーしていただいたので忘れることはないと思います。画像には苦手意識があったのですが、今回学んだ X 線の読み方を基盤にして今後の実習に活かして行きたいと思います。

そして良い経験をさせていただいたと思うことは、全国でも数少ない結核を扱う病院で結核のことを勉強させていただいたり、病棟を見学させていただいたりしたことです。結核を扱う病棟はとても特殊な設備が整えられていて、それを見学できたのはとても良い経験でした。また、結核の勉強も基礎から十分に教えていただき理解することが出来ました。

他にも呼吸の管理法なども実際の治療器具を使って説明していただき、より現場に近いことを教えていただきました。

このような有意義な二日間の実習をさせてくださった、和歌山病院の院長先生をはじめ、副院長先生、先生方、病院スタッフの方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。